

夕刊 磐城時報

日七十二
編輯部 田中弘成
印刷部 加納活版所
發行部 磐城時報社
一部金銭 一ヶ月金銭
廣告料 一行十二字五十五銭
日刊(日曜祝祭日)五日休刊

あす四倉上水道

喜びの竣功式

知事以下二百余名参列 新妻町長功勞者に感謝

総工費十四萬二千五百圓をのりて、約一年に亘つて工事の竣功式は二十八日午前十時から四倉町字栗木作の貯水池現場に於て知事以下貴衆兩院議員、縣會議員その他二百余名を招き盛大に舉行される。喜びの日を前にして新妻町長は語る。

「私の久しい希望であつた四倉上水道が昭和十年三月二十八日の町會で議決され、原芳男技師に設計を依頼して以來、茲に三ヶ月無量なものがあつた。今日まで技術方面や工事監督等で凡ゆる努力を拂はれた原技師、町會議員、請負者である堀江工業會社等に満腔の謝意を表して止まない。殊に感謝を強ふするのは町會の議決が少しでも遅れると材料の他の騰貴と時局の變遷で計割が實現出来なかつたであらうと思はれ、實に好機を捉え得たと喜んでゐる次第である。

豫定より

三ヶ月短縮

布設工事概要 四倉上水道布設工事概要左

給水に際しては公道部分及び四倉水道竣功式に際し同町宅地内十間道は町に於ては左の人々に記念品を贈り、工費を負担するの特典を設け、勸誘に努めた結果豫定の五百戸を突破し現在で五百六十戸に達してゐる。而して同町の人口は統計により平均一年八十八人の増加で豫定給水計劃は第一期八千人、第二期一萬人である。

水道給水戸數 豫定五百を突破

給水に際しては公道部分及び四倉水道竣功式に際し同町宅地内十間道は町に於ては左の人々に記念品を贈り、工費を負担するの特典を設け、勸誘に努めた結果豫定の五百戸を突破し現在で五百六十戸に達してゐる。而して同町の人口は統計により平均一年八十八人の増加で豫定給水計劃は第一期八千人、第二期一萬人である。

功勞者に 記念品贈呈

武道大會

四倉町 磐城セメント會社主催剣道

茨城の揚操船

薄磯海岸で坐礁

小名濱水難救濟會で 引上げ作業に出動

理想的な水道

四倉水道の水源は同町字芳の澤字栗木作の二ヶ所に有る。水は堰堤を設け、溪流に依り、貯水池に導き、外降雨水を貯溜して使用、水道線路は貯水池内に取水塔を設け、暗渠により浄水場に導き、字田の「ボイ」山頂の配水塔に至り、自然流下によつて給水するもの、導水管最大静水壓四十一、五九配水管静水壓平均三、特許で請負はしめ十一月十六日の理想的の物である。

河合課長

新川視察

河合本縣土木課長は二十七日來平新川その他河川を視察、明日二十八日四倉水道落成式に臨む。

回数と減す

燃料國策の意味で鐵道省では全國に亘り汽車ガソリンカー等の運轉を減らす事となつたが、湯本間のガソリンカーは五往復を減じ、平小川郷間、平久の濱間は各三回宛減せられる事となり、二十七日午後一時から平小川郷間に高橋水戸運輸事務所各全減に漸してゐる事實に、關助手鈴木保雄(三八)氏一

一家四名が

チブスで全滅

鐵道官舎の怪事に 平署事實を調査

加藤政英君の

盛大な村葬

北支の匪賊討伐で名譽の戦死を遂げた内郷村小島加藤政英君の村葬は二十七日午後一時から内郷村御殿第一に對し片濱廻り期成同盟會小學校で壯嚴に執行された。

平小鐵道片濱廻り

期成同盟會組織

江名町青年奮起

醫學博士

三十一歳で

好問村出身崎玉縣川越市野小學校に開く

農産品評會

渡邊

村農産物品評會は十二月二日から三日間同村小學校、山田村では十一日から三日間同村小學校に開く

田町赤心堂病院

院長栗城

田町赤心堂病院副院長栗城氏は北海道帝大卒業後、昨十一月迄教室で研究し、今春慶大に博士論文「日本人類部皮膚附屬器の計量的研究」を提出し、十一月二十七日の處で二十日教授會を通り、同日通知があつた、同氏は本年三十歳の小壯醫師である。

田町赤心堂病院

院長栗城

田町赤心堂病院副院長栗城氏は北海道帝大卒業後、昨十一月迄教室で研究し、今春慶大に博士論文「日本人類部皮膚附屬器の計量的研究」を提出し、十一月二十七日の處で二十日教授會を通り、同日通知があつた、同氏は本年三十歳の小壯醫師である。

田町赤心堂病院

院長栗城

田町赤心堂病院副院長栗城氏は北海道帝大卒業後、昨十一月迄教室で研究し、今春慶大に博士論文「日本人類部皮膚附屬器の計量的研究」を提出し、十一月二十七日の處で二十日教授會を通り、同日通知があつた、同氏は本年三十歳の小壯醫師である。

田町赤心堂病院

院長栗城

田町赤心堂病院副院長栗城氏は北海道帝大卒業後、昨十一月迄教室で研究し、今春慶大に博士論文「日本人類部皮膚附屬器の計量的研究」を提出し、十一月二十七日の處で二十日教授會を通り、同日通知があつた、同氏は本年三十歳の小壯醫師である。

田町赤心堂病院

院長栗城

田町赤心堂病院副院長栗城氏は北海道帝大卒業後、昨十一月迄教室で研究し、今春慶大に博士論文「日本人類部皮膚附屬器の計量的研究」を提出し、十一月二十七日の處で二十日教授會を通り、同日通知があつた、同氏は本年三十歳の小壯醫師である。

田町赤心堂病院

院長栗城

田町赤心堂病院副院長栗城氏は北海道帝大卒業後、昨十一月迄教室で研究し、今春慶大に博士論文「日本人類部皮膚附屬器の計量的研究」を提出し、十一月二十七日の處で二十日教授會を通り、同日通知があつた、同氏は本年三十歳の小壯醫師である。

田町赤心堂病院

院長栗城

田町赤心堂病院副院長栗城氏は北海道帝大卒業後、昨十一月迄教室で研究し、今春慶大に博士論文「日本人類部皮膚附屬器の計量的研究」を提出し、十一月二十七日の處で二十日教授會を通り、同日通知があつた、同氏は本年三十歳の小壯醫師である。

昭和タキシード

電話 三四〇三番

快鼻湯

本劑は幾多の藥劑あり、雖他藥の及ばざる良藥で、左の病症の方は一時も早く服用され快癒せん事を御奨め致します。

蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症、頭痛、肥厚性鼻炎に靈効あり。

警城 國平市一丁目 水野藥局 電話 六九九番

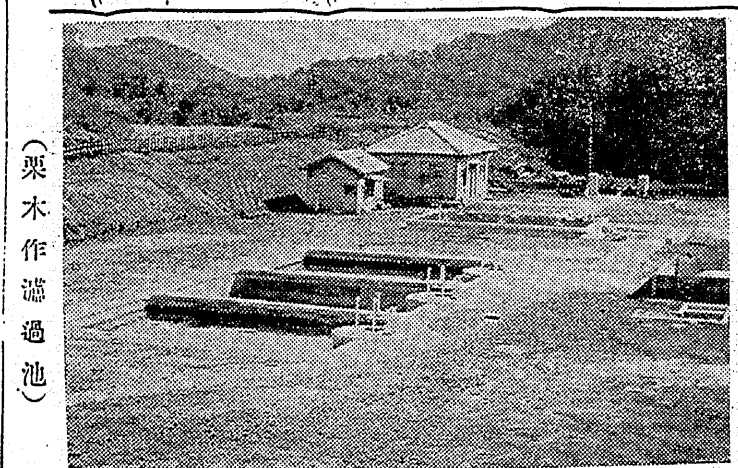
魚釣競技

平釣友會では二十八日午前六時から午後二時迄大浦村仁井田川本流に於て第四回魚釣競技會を催すが、集會場所は徳永五味洲の兩釣宿で魚獲の量目により十五等まで賞を與ふ、會費五今錢である。

文魁文堂

藥劑士堀功調劑 よく効く神效水 一瓶二〇錢

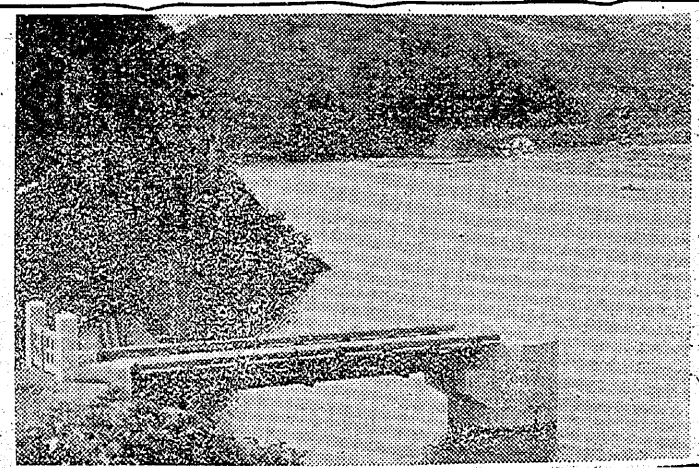
祝 式 成 落 道 水 上 町 倉 四 祝



(粟木作濾過池)



長町倉四 氏盛妻新



(粟木作貯水池)

福島縣會議員 (順不同)

蓮野關草 沼崎内野 龍滿正三 輔藏一郎

四倉町上水道技師 井上末春氏

資本金壹千七拾萬圓 (年産額三百萬樽)

明治四十年十一月創立

磐城セメント株式會社

四倉工業所

所長 小室萬五郎 庶務課長 八角留平

代議士 星 一

前代議士 佐藤庄太郎

元代議士 木村清治

四倉町長 新妻盛

平市堀江工業株式會社 專務 鈴木唯治氏

四倉町上水道部員一同

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------------------|---|--|------------------------------|--|----------------------------------|--|--|---------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|---|---------------------|-----------------------------------|
| <p>平市堀江工業株式會社</p> <p>前澤組 前澤由五郎</p> <p>四倉町仲町</p> | <p>萬年瓦工業株式會社</p> <p>四倉驛前【電話三八番】</p> | <p>大日本電力株式會社</p> <p>四倉變電所</p> <p>驛前【電話六番】</p> | <p>保證責任 四倉信用購買利用組合</p> | <p>四倉藝妓屋組合</p> <p>電話三十一番</p> | <p>四倉驛長 佐藤丑五郎</p> | <p>四倉警察署長 薄葉捨吉</p> <p>外署員一同</p> | <p>四倉郵便局長 菅波富太郎</p> | <p>帝國在郷軍人 四倉分會長 中野正太</p> | <p>四倉小學校長 篠原保治</p> <p>外職員一同</p> | <p>四倉合同運送株式會社</p> <p>電話二番</p> | <p>關影商店 四倉支店</p> <p>電話四八番</p> | <p>銘酒・しら藤 味噌・醬油・醸造元</p> <p>佐藤仲商店</p> <p>四倉新町【電話四二番】</p> | <p>四倉登記所長 松林善三郎</p> | <p>釜屋商店</p> <p>平市五丁目【電話九・九九番】</p> |
| <p>鰹魚肥節 各海產物 製造元</p> <p>吉田彌十郎商店</p> <p>四倉仲町 電話二五番</p> | <p>植田材木店 自動車部</p> <p>四倉仲町 電話百十三</p> | <p>柏屋旅館</p> <p>本町 電話十九番</p> | <p>味噌・醬油醸造元</p> <p>鱗屋合名會社</p> <p>四倉新町 電話百〇八番</p> | <p>旅海氣館</p> <p>新町 電話五番</p> | <p>合資會社</p> <p>四倉合同 貨物自動車商會</p> <p>四倉仲町 電話一〇一番</p> | <p>佐藤藥寫真館</p> <p>四倉新町 電話一三〇番</p> | <p>三井物產本店特約店 刻昆布製造元</p> <p>本多辰吉商店</p> <p>四倉町 電話一五三</p> | <p>四倉町會議員 (順不同)</p> <p>面川龜之助 菅波末吉 長谷川寅次郎 植田万次郎 長谷川酉次郎 吉田壽三郎 小湊宗吉 長谷川長太郎 青木公丸 大須賀丑藏 豐田美孝 鈴木幸次郎 佐藤倬司 菅波康太郎 佐藤廣治 金成岩吉 佐藤熊藏 鈴木賢二</p> | <p>磐城時報四倉支局</p> <p>渡邊米藏</p> | | | | | |